

G6 合併協議会だより

第7号 平成14年11月発行



合併を考える上では、6町の距離感をなくすることが大きな課題となるな！



6町の中だけではなく、この地域へのアクセスを考えることも重要よ。



便利な道路をいっぱいつけてほしいな。

目次

第5回合併協議会開催………	p 2
ちょっと聞いたら………	p 4
小委員会概要………	p 6
考えよう！	
地域の新しいまちづくり………	p14

本庁・支所の機能 について協議される。

第5回合併協議会 ～弥栄町公民館～



十月二十三日、第五回合併協議会が弥栄町公民館で開催され、第四回協議会の継続協議となっていた「合併の方式」「合併の期日」「新市の事務所の位置」について協議されました。

合併の方式、期日については賛成の意見がほとんどであったが、事務所の位置については、委員から支所の機能及び組織体制についての質問が相次ぎました。

協議会の設置者である六町長は、組織体制としては部制を敷くこと、支所には現在の職員数の約半数を残し、住民の日常生活に関わる窓口事務や防災面での初期対応を行うこと、さらに峰山町役場だけでなく大宮町役場、網野町役場に本庁機能を分散させる予定であることを明らかにしました。

第5回合併協議会(議事概要)

議事経緯

◆協議事項

- (1) 協議第1号 「1 合併の方式に関する事」・・・継続協議
 (2) 協議第2号 「2 合併の期日に関する事」・・・継続協議
 (3) 協議第3号 「3 新市の事務所の位置に関する事」・・・継続協議

主な意見

- 会 長 合併協議会の設置にあたり、私も町長は是非も含めて議論していくことを示した。「合併の方式」については「6町を廃止し」と提案しているように、合併協議の基本中の基本と考えている。この協議項目の審議により、合併をするかしないかを決する、つまり合併の是非を問う最も重要な内容と考える。加えて「合併の期日」や「市役所の位置」、「新市建設計画の基本理念及び7つの方針」も合併の是非を検討するための不可欠な項目として提案をしている。この丹後6町をよりよい地域とするための手段として、合併について協議をお願いする。
- 委 員 現在、町の方では地方交付税、町税収入、人口、公共事業などが減っている。合併はやむを得ないと思うが「残るも地獄、行くも地獄」という言葉があり、できれば天国になる方法を模索せねばならない。市になればよいことがあるよう努力しなくてはならない。例えば久美浜病院と弥栄病院が交代で土日に診察するとか、各地区に役に立つものを作るのもよい。本所、支所については大宮、峰山、網野町をメインとして、分散型でやったらよいし、昔のように旧村単位で村役場を復活させるなど、せっかく合併するのなら新しい市民が市になってよかったと思えるように考えてほしい。
- 委 員 基本的には合併については仕方がないと思っており、3項目には賛成。合併は、小さなまちが大きな範囲で物事を捉えることができるのがプラスだと思う。合併によりサービスが落ちる、料金が上がるといったことは仕方がない。丹後の住民は今まであまりにも行政に頼り過ぎていたのではないかと。町民の方から行政に意見を出していくのが当たり前で、そういう市になってほしい。提案については早く決めていただき、住民に提示できるようにしてほしい。
- 委 員 3案については特に反対の意見ではないが、情勢が変わり合併特例法の緩和要件が延期されると聞いたが、そうすると3月1日の期日を10月1日とかでできないか。また新市の事務所の位置については、分散型としてほしい。
- 副会長 合併特例法自体の延期はないが、人口が3万人以上であれば市になれるといった緩和要件の延期については政党の議論の中で出ており、注意深く見ていかねばならない。正式に決まったことではないので、今の法律の枠内で準備を進めていかなければならないと考える。
- 委 員 合併につきましても是非かということになると、私の意見は是である。住民意識調査では「海岸や海浜など美しい景観や水や緑を生かしたまち」というのが高校生で一番であったが、これを踏まえると新市の中心が峰山町でいいのだろうか。国・府の機関が峰山にあるということでも本庁ということがあるが、果たして5年、10年先までその機関があるだろうか。久美浜町、網野町に持つていく方が、魅力的なまちづくりに対して色々な意見が出てくると思う。
- 委 員 合併の期日或いは新市の事務所の位置の関係については、それほど異議は申しません。個人的にはそれで賛成ではあるが、方法も工夫してできる限り住民の意思を尊重してほしい。
- 委 員 合併の方式とか期日につきましては私も原案通りで賛成。何か大きな変化をする時には賛成も反対もあるが、総合的にプラスになれば変更すべきと考える。時代がどんどん変化し成長する中で、反対をして現状維持では後退を意味すると考える。従来どおりの6町でいった場合、何か活性化、発展が期待できるかと考えた場合、合併はやむを得ないと考える。
- 委 員 提案では、6町役場を支所とするところがあるが、本庁にも支所を設置するのか。また支所、分散型についてどう考えているか。
- 町 長 本庁にも旧町に対応した窓口は持たせていかねばならない。本庁には、管理部門や議会などの中枢が入っていくだろう。本庁に全職員を配置するのはむずかしく、支所には現在の職員の半数くらいの配置を考えている。支所では窓口業務として各種届出の受付、証明書の発行、税務等があり、年金、商工観光、農林水産、健康医療、介護、水道なども窓口として相談等を行うほか、災害対応などを考えている。地域審議会等も支所で行う課題と考えており、

委 員

町 長

委 員

委 員

会 長

委 員

会 長

委 員

委 員

会 長

委 員

委 員

町 長

委 員

会 長

委 員

会 長

委 員

会 長

委 員

会 長

支所機能をうまく活用することが合併のデメリットを少なくし、住民サービスにつながると考えている。また、部制を敷く上では、本庁機能も峰山町役場だけではなく大宮町、網野町役場が補佐していく方向を考えている。

具体的分散型の機能、支所の機能はどうか。

増築しないことを原則としているので、峰山町役場では住民に直接対応する窓口を入れたら、容量的に議会、総務、企画、財政の管理部門くらいしか入らない。今府が行っている生活保護を含め、福祉事務所を設置しなければならない。市民部や事業部、教育委員会の本庁機能は他の役場に持っていくという分散型とし、6町均等に分けるのではないが、一極集中はしない。合併した後合理的でないということであれば、その時検討していかねばならないが、とりあえずこういう形で出発するのがよいと考えている。

合併の是非につきましても、大方が合併ということの中で話がされたというふうには認識をしているが、もちろん私自身もそういった考えを持っておるものの1人である。周辺部が寂れないよう、また協議会での計画を監視する意味でも、地域審議会を設置し、地元の声が届くシステムについて考えてほしい。

「方式」「期日」については原案通りでは賛成をしている。住民は、自分のまちの役場がどうなるか心配している。本庁・支所の関係、部の機能、支所の機能、それに支所の名称や部をどこに置かなど明確化されていけば意見が出てくると考えるので試案を出してほしい。

現在、職員の残し方について考えるよう部会の方には指示してあるが、支所長にどれくらい権限を与えるべきか、部長と支所長関係などむずかしい面がある。

住民・福祉・教育小委員会で学校問題等を協議しているが、支所の関係と併せて新市の教育行政のあり方を描かないと話が発展していかない。

教育については、まだ6町の教育長との協議ができておらず、早急に協議をしていきたい。

新市建設計画策定小委員会以外的小委員会にも、新市建設計画について意見を聞くようにしてほしい。また、町長にも小委員会に出していただき、雰囲気を知ってほしい。

合併協議会の場合であらうに合併に反対という意見を聞かないが、私も合併については反対という意見は持っていない。最近、合併反対の看板が目立つようになっており、反対派の意見の中にも新しいまちづくりのヒントが隠されていると思うが、そういったものをどうやって吸い上げるのか。

住民説明会の場合で反対意見をかなりひろえるだろうと思っている。合併の是非もということだったので、私は協議第1号2号3号とも基本的には賛成です。本庁・支所の関係では、行政サービスの低下が心配されていると考えるが、こうした苦情等の処理を迅速に行うため、新市移行後に行政110番的な課を設けて、6町の円滑な行政推進を進めていただけたらと思う。

消防団と丹後広域消防との兼ね合いについてどう考えておられるのか。今結論がだせるものが調整結果において新市に移行後調整というのが多いと感じる。社協、商工会等の合併に向けた動きもこの場に出していただきたい。

形の上では、消防団は常備消防の指示を受けることになっているが、実際の火災では資機材等の多い消防団に頼るところが大きい。商工会の動きは聞いていないが、社協、シルバー人材センターは法的に一つの市に一つということで検討されている。

合併の方式は対等合併で賛成。期日については、せっかくするのなら市になれる機会をのがさないように平成16年3月。位置については新市になって情勢が変われば建替えを考えるなど、今日現在のところでは原案に賛成。この3つについて早く決めないと協議会自体の協議が進んでいかないのではないかと。

住民説明会に回り、住民の意向を把握した上で、次回の協議会で合併の是非を問いたい。

この合併の問題につきましては私も大賛成で、今後できるだけ協力をしながら頑張っていきたいと思う。住民の意識は道路に左右されていると考える。

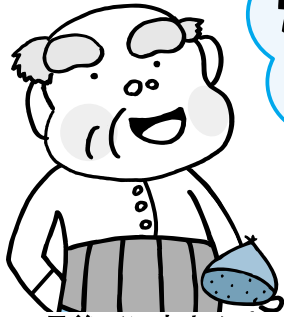
京都府にも国土交通省にも要望してあるが、すぐに実現できない。財政問題、負担やサービスについて篠山市は失敗例と言われている。丹後は負担は低くサービスは高くといった理想を追うのか、住民にも負担をしてもらいサービスを維持していくのかといったことに、合併協議会として一定の確認がいるのではないかと。

サービスは高い方にあわせていきたいが、負担については低くではなく、各町の平均を出し中ほどとせざるを得ないと思うのでご理解をいただきたい。

新市の名称を募集中だが、旧町名は〇〇市〇〇町のように使われるのか。

活用する方法も含め、今後協議をしていきたい。

ちょっと聞いたら 6回目だて~



丹後ベン太さん



丹後ノコちゃん

ほんまにの
本間丹スル乃さんみらいに
未来丹ユメ夫

ベン太

秋もだいぶ深まってきたな。丹後の山は今が一番見え頃だな。

スル乃

そうですね。私、こっちに嫁いで初めて、こんなきれいな紅葉というか、はつきりした秋を感じたのよ。

ノコちゃん

丹後は四季がはっきりしているからね。

ユメ夫

十一月六日には松葉ガニ漁も始まったんですよね。食べたいな。

ベン太

この前「新市の名称」の募集も終わったけど、よけ応募があったかいな。

ユメ夫

六町内及びそれ以外の地域からもたくさん応募がありました。現在、応募いただいた名称について集計を行っていますので、近いうちにみなさんにも見ていただけたと思います。

ノコちゃん

私も応募したんだけど、ど

うなるかしら。

スル乃

どういう名前にしたの。

ノコちゃん

おばちゃん、それは秘密だよ。

スル乃

今、各町で合併について住民説明会に回っているけど、ベン太さん行かれましたか。パソコンを使って説明していたらいいですね。

ベン太

行った。行った。結構大勢の人が来て、パソコンの画面を「プロ・…」何ちゃらいうもんで映して説明してたわ。その中でわしも一つ意見を出してきたわ。

スル乃

何を言ったの。

ベン太

決まってるわな。少子・高齢化だの不況だのいうて世間では言うところけど、働く場所が確保され、若い者が定着できて、かわいい子供の声があちこちから聞こえるような、そして六町みんなが仲良く暮らせるような、素晴らしい市



▲住民説明会を開催（久美浜町福祉センター）

を考えてくれというて言うてきただっちゃ。わしの意見、通るかな。

ユメ夫

今回の説明会では、六町で説明内容の統一を図り、共通の説明資料をプロジェクターと呼ばれる投影機で映して行われています。ベン太さんのように説明会で出された意見また合併に対するみなさんの期待と不安について集約し、協議会の場で報告させていた

スル乃

住民の意見を聞いて、協議会で合併を決めるのね。

ユメ夫

あくまでも最終的な合併の結論は各町の議会でも出されませんが、協議会発足時に協議会では是非を問うということになっており、協議会において合併の結論は出さなければなりません。協議会では、「方式」「期日」「名称」「位置」という合併基本四項目が提示され協議を重ねていますが、各町で実施されている住民説明会では、このことも踏まえ住民の方々の意向を聞き、協議会の場で合併についての是非を問うことにしています。

スル乃

住民説明会では、色々な意見や自分の想いを出さないとね。

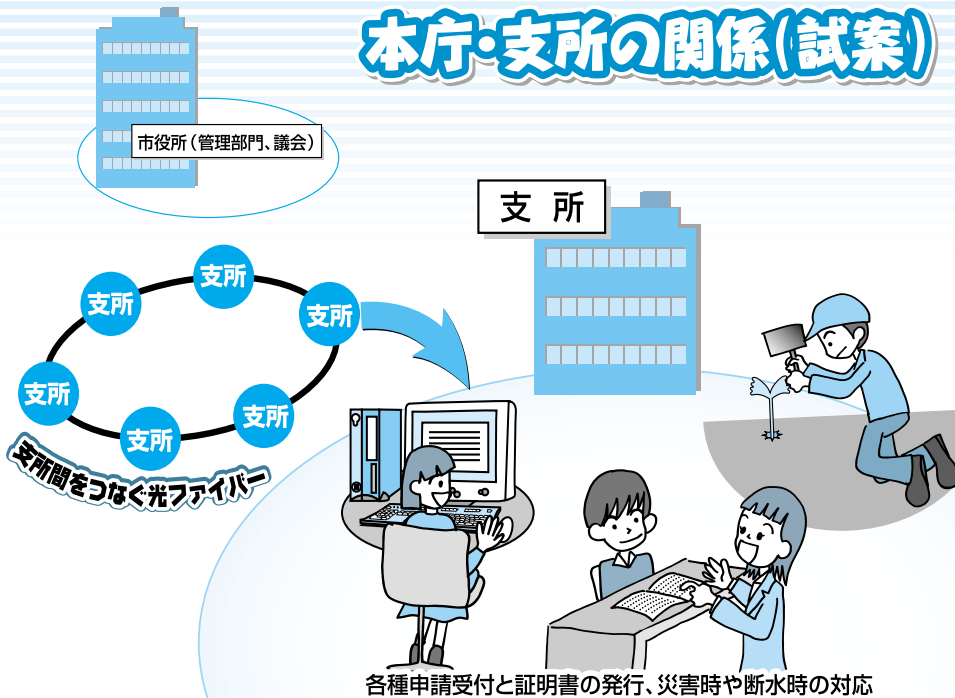
ベン太

反対の人の意見はどうするだ。聞き流すんか。

ユメ夫

住民説明会では、賛成反対を含め多くの意見が出されて

本庁・支所の関係(試案)



いることと思いますが、特に
反対の方の意見の中には合併
に対する不安から来るものが
多いと考えます。こういった
意見は、逆にあたらしいまち
づくりのヒントとしてとらえ
活かしていくことにしていま
す。

スル乃

そうよね。新市計画の中で
一つでも不安材料を解決して
いくことができれば、さらに
いいまちづくりが考えられる
ものね。

ユメ夫

今各町では、新市の建設計
画を策定するため鋭意検討を
しています。域内の交通アク
セスをよりよくするための方
策や、高速道路の建設要望に
も力を入れています。また、
住民票発行なども身近にでき
るよう広域情報ネットワーク
の整備も視野に入れています。
その他住民説明会での意見を
取り入れ工夫をしていきたい
と思っています。

ノコちゃん

役場がなくなってしまうか
もしれないということが一番
の不安なの？

ベン太

役場がなくなっても、
そこにいる職員が少なくなれ
ば、行政サービスの低下とい
うことが心配になるだっちゃ。

ユメ夫

その部分については、協議
会の方で委員からも質問が出
ていました。新庁舎を建設し
ないこと、現役場庁舎の増築
をしないことを基本としてい
るため、市役所機能を一箇所
の庁舎で行うことは不可能と

の判断から、一部機能を支所
の方に移すことも考えられて
います。六町長は、職員の約
半数は支所に残し、ある程度
の権限を与えることで、一極
集中型としないこととし、ま
た本庁も峰山、大宮、網野町
の役場を活用する分散型の構
想を明らかにしました。

スル乃

むずかしいところね。行政
改革を前面に出すと、サービ
ス低下といった不安が出てく
るだろうし、かといって住民
意識調査では行政経費の削減
に対する期待が大きいのね。

ベン太

この前の総務・企画・議会
小委員会では、各町の消防団
のことも協議されたらしいけ
ど、どうなるだろうね

スル乃

消防署ができて十五年くら
い経つけど、やっぱり身近な
ところに地域の消防団がある
と安心するわね。

ノコちゃん

この前、消防団のお兄さん
たちが私の家の近所で訓練を
してくれて、私も消火器を使

った消火訓練をしたわ。

ベン太

わしも、若い時は消防団員
として、地域の生命・財産を
守るためにがんばったーで。
でも、近頃は若い者の数が減
り、団員定数に満たない町が
あるらしいわ。

ユメ夫

人口流出の続く地域では、
五十歳代の現役消防団員がい
たり、ある町では昼間の消防
団員人口が五割を切る町があ
ったりします。

スル乃

ゆくゆくは現状に合わせて
考えていかないとね。これに
は、丹後広域消防組合のあり方
や地域との関係があるものね。

ユメ夫

「自分たちのまちは自分た
ちで守る」という基本理念の
上に立つ消防団ですが、各町
とも消防団員の確保には大変
苦労されているようです。若
い人の少ない地域などの自主
的な防火啓蒙・初期消火とい
うことも考慮に入れ、今後そ
のあり方を考えていかねばな
らないと思います。

委員長 調整結果は「新市に移行と同時に調整して、一元化の方向で実施する」とする。

(3) 自由討論

・幼保一元化について

主な意見

- 委員長 幼保一元化について、新市としてどうしているのか。
- 委員長 幼保一元化については、せっぱつまった問題ではなく、将来に向けて勉強していこうとするものと考えている。
- 事務局 こうしたことを一つの知識として、新市の建設計画の中に「導入を検討」とかいった意見を出していただきたい。
- 委員長 伊根町は、今度合併後には他施設に転用できるように役場を新築されるということだが、来年保育所の統合をされる大宮町、久美浜町では、そうした考えがあったのか。
- 委員長 久美浜町では、審議会の答申を受け統合を決めたもの。親の会、地域の区長会等への説明会も実施し、7つの保育所を3つにするが、久美浜町では幼稚園がないので、幼保一元化については深く議論していない。
- 部会長 大宮町でも保育所が8つあるが、その中でもへき地の保育所は40人定員で10人を切るところも出てきた。建物の老朽化、少子化対策として大宮町の南側に統合を考え、保育所数を全体で2つとする計画で、0歳児保育、朝や夜の早延長保育、広域的な入所など保育の中味を高めてほしいという保護者のニーズに応えた。
- 委員長 幼保一元化の問題は、女性の就業形態の変化から、保育所はニーズの高まりにより施設不足、

逆に幼稚園は入園者の減少でたくさん廃園となっており、この施設を保育所のように使えないかというのが発端である。丹後では、保育所施設が足りないのではなく、未満児保育に欠けており、年長児には空きがある状況。丹後では、幼稚園を保育所のように利用しなくても、保育所の内容を充実させた方がよい。また、合併すれば、現在の2幼稚園に6町から通えるようになるので、幼稚園は選択できるものとして充実させたらよいと考える。

委員長 延長保育など、保育所の充実が図られるのなら、保育士の質の向上というのも大きなテーマであり、対策をとるべきと考える。

・合併基本項目（方式、期日、位置）について

主な意見

- 委員長 事務所の位置の提案は峰山町役場だけとし、支所を置くということについては現行を維持するだけの中味だから削除すべきである。
- 委員長 本庁のあり方については、小さい本庁、大きな支所ということの基本を考えていただきたい。
- 委員長 この3項目については提案どおりで賛成する。特に位置については地理的にも距離的にも峰山町でよいと考える。
- 委員長 本庁の位置については提案どおりでよいと考えるが、支所ということ提案から削除すると住民も不安に思うのではないか。支所機能、分庁舎方式などの問題については別の議論が必要と考える。
- 委員長 支所機能は重要である。窓口業務だけではだめ、支所で財政的にも結論が出せるような、本庁並みの機能がほしい。

会議メモ

十月二十三日開催

第五回合併協議会

◆合併の方式に関すること・

.....継続協議

◆合併の期日に関すること・

.....継続協議

◆新市の事務所の位置に関すること・

.....継続協議

十月十日開催

住民・福祉・教育小委員会

◆介護保険の取扱いについて

(その二)

介護保険料、減免・徴収猶予基準、受給者管理等・

.....確認

◆社会教育の取扱いについて

(その三)

社会教育推進の重点、青少年・障害者・成人等社会教育、成人式・

.....確認

◆自由討論

幼保一元化、協議会の継続協議事項(方式・期日・位置)について

.....

◆農林水産業の取扱い

十月十日開催

建設・産業小委員会

十月十七日開催

総務・企画・議会小委員会

現団員数を新市の定数とし平成十六年四月一日付けで新市消防団として再編するが、新市移行後一定期間内に見直しを行う等・

.....継続協議

◆自由討論

地域審議会、協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

(その五)

生産調整対策及びそれに係る補助事業、町独自事業等

.....確認

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

.....

◆自由討論

協議会の継続協議事項(方式・期日・位置、新市建設計画(中間案)について

第7回 住民・福祉・教育小委員会

日 時 平成14年10月10日（木）AM9：30～PM0：15
場 所 アグリセンター大宮

出席者数 14人

主な議題

- (1) 協議第1号 19-17 介護保険の取扱いについて
- (2) 協議第2号 19-22 社会教育の取扱いについて
- (3) 自由討論 幼保一元化、合併基本項目（方式、期日、位置）について

議事経緯

- ◆委員長あいさつ
- ◆会議成立確認
- ◆議事



(1) 協議第1号 19-17 介護保険の取扱いについて・ ・・・・・・・・・・確認

主な意見

委員 サービス供給量により各町保険料が違うが、調整結果には「合併前に事業計画を策定し、一元化に調整の上、新市に移行」となっており本当に可能か。

部会長 保険料やサービスの供給量については6町で一本化する必要があり、平成16年3月を目途とすると、国・府の予算を考え来年10月くらいには算定を終えなければならない。なお、来年度からの第2期（15,16,17年度）の計画ということで、現在各町とも第1号被保険者所得段階については、現行の5段階から6段階で進めている。保険料の算定についても、一定同一歩調をとる方向で調整している。

委員 利用者負担減免で、弥栄町を除く他の5町は対象者について収入額42万円以下ということになっているが、どういうことか。

部会長 減免措置については、弥栄町は対象者を広くひろっているということ。調整結果にあるとおり網野町に合わせると、弥栄町は対象者が若干減り、峰山町、久美浜町は若干増えることになる。

(2) 協議第2号 19-22 社会教育の取扱いについて・ ・・・・・・・・・・確認

主な意見

委員 青少年教育、高齢者教育などの社会教育は、一元化せずに地域特性を活かしたものであってほしい。成人式については、開催日は「成人の日の前日の、日曜日の午後」となっているが、参加者等にアンケートして決めたらよい。

部会長 社会教育については、地域特性を考え取捨選択、集約、総合化するなど、一元化は考えていない。成人式については、アンケート等も必要と考える。

委員 調整結果のとおり、新市の「社会教育推進の重点」を決めるのが第1である。成人式の日程の調整結果に至った経緯はどうなっているか。

部会長 各町の教育長と相談の上の調整結果となっている。

委員 成人式の日程について大宮町議会で事前に勉強会をしたが、新市でひとつの会場とすると会場も限られ大幅に参加者が減るのでは、また父兄等も一緒に入れる会場があるのか、それに成人式が中学校の同窓会的なものになっており、ひとつの会場ではどうかといった意見が出ていた。

委員 地域に根ざした社会教育、新しい歴史を産む新市での社会教育をめざしてほしい。成人式は同窓会的というのも事実だろうし、全国的にその意義が問われているが、成人式を祝うということの意義あるものするにはどうしていったらよいか。

委員 介護保険などは料金等の統一ということで一元化でよからうが、社会教育は各地域の創意工夫でやられている。成人式については形骸化、同窓会的になっているのではといったことだが、無理に一緒にするのではなく、新市になって一緒にやろうという声上がるまで待つべきと考える。

委員 社会教育は、どのような組織体制、職員体制でやっていくのか。このような問題は、新市建設計画策定小委員会にまかせないとできないのか。

部会長 事務局体制、組織・機構については教育長会で論議されている。

委員 成人式は、基本的に一箇所でもよいと考えるが、該当者がすべて入れる会場を用意すべきで、会場がないのなら2箇所に分かれてもしょうがないと考える。しかし、合併ということを考えると、6箇所で作るといえるのはいかなものか。また開催時間を午後にしたのはどういうことか。

部会長 該当者数から最大出席数を考えると、丹後文化会館でもむずかしいと考える。実施期日については6町の間をとったもの。時間については、参加者の準備等を考えてのこと。

委員 一堂に会して行われるのが基本だと考えるが、家族の方が一緒に祝うということも大事なので、人数的に入れないのなら2会場でもやむをえないと考える。将来的に少子化が進んだり、新会場が建設されるのなら解決すると思う。開催日程については、各町それぞれの事情で今までやってこられたと思うので、何らかの形で参加者の意見聴取をした方がよい。

部会長 開催日程まで踏み込んだ調整結果ではあるが、実施日の部分はカットしたらよいか。また、現在の開催日は6町で3通りあるので、アンケートを実施するなりして集まりやすい日に設定すべきと考える。平成16年3月1日が合併の目途であり、これからすると平成17年実施の成人式からの調整となる。

6町消防団の状況

平成14年4月1日現在

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10	11	12
	分 団 数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	指 導 員	部 長	班 長	団 員	合 計	内、ラッパ	内、女性団員	内、欠員
峰 山 町 防 団	6 分 団	1 人	1 人	6 人	6 人	12人	20人	36人	292人	374人	0人	0人	3 人
大 宮 町 防 団	8 分 団	1 人	1 人	8 人	8 人	10人	22人	44人	251人	345人	0人	0人	1 人
網 野 町 防 団	5 分 団	1 人	1 人	5 人	5 人	25人	17人	29人	407人	490人	0人	8人	56人
丹 後 町 防 団	5 分 団	1 人	1 人	5 人	5 人	13人	13人	26人	226人	290人	0人	0人	40人
弥 栄 町 防 団	5 分 団	1 人	1 人	5 人	5 人	8人	13人	17人	205人	255人	10人	0人	36人
久 美 浜 町 防 団	4 分 団	1 人	1 人	8 人	4 人	12人	13人	25人	178人	242人	12人	0人	0 人

- えると、距離的にも消防団が不用になるといったことはない。
- 委員 「一元化に調整の上、新市に移行する」とは調整後もう一度この場に出てくると理解しているがどうか。報酬など新市で調整されるのか。
- 部会長 組織以外については新市になるまでに調整をする。最終的には3月末までの報酬・手当については現行のまま、4月1日より新たな報酬・手当という形で調整せざるをえないと考えている。金額については合併合意までにできるなら報告させていただく。
- 委員 交付税の積算で、消防団の組織体制は4割の交付税積算の範囲を遵守されるのか。
- 部会長 常備6割、消防団4割というのは常備消防設置時の数字で、現在は交付税算入は7割強を常備の方に持っていつている。
- 委員 団員の報酬にしても、できるだけ一定の目安を出してこないと全体が見えてこない。
- 委員 調整するということは事務局におまかせするのか。
- 委員 ある程度調整案が提示されての確認だと思う。
- 委員長 消防団の取扱いについては重要な項目なので、継続協議とする。

(2) 自由討論 地域審議会、合併基本項目（方式、期日、位置）について

主な意見

- 委員 地域審議会は、現在の6町に設置しようとすれば設置できるのか。またこれは議会の議決が必要だが、設置に関して各町単位で勝手にできるのか、協議会で協議するのか、またどこまで決めておくのか。
- 事務局 他府県の例では、設置するかしないかは、合併協議会の協定項目になっています。合併協議会で設置を決め新市において設置条例が決められます。また先進事例では、協議会として設置の形、地域審議会での協議項目、構成員などが決められている。
- 委員 部会では、地域審議会を設置せず区長会を位置づける方向という話だったが、委員の方からは地域審議会の設置を望む声が多い。その後どの

- ように話し合いが行われたのか。
- 部 会 現在、町長会で協議されているが、その結果を待って協議したい。
- 委員 私の町では区長会は全員男であり、地域の様子が全てわかるとは思えない。老人会、婦人会、商工会もあれば町会議員さんもおられ、地域のことについては良くご存知である。地域審議会とは法的に認められた組織であるので、区長会よりも責任が重い組織と考える。新しい市長に地域の実情を知ってもらうため、6つの地域に審議会を設けて、建設計画が絵に書いた餅にならないようにしてほしい。離れた地域の委員として、是非とも地域審議会を作してほしい。
- 委員 合併基本4項目を決めたら是非を問うたことになると言われているが、住民に是非を問うために決めるのではないのか。
- 委員長 協議会では、新市の姿について協議しており、これを住民説明会に持って行き賛同を得ることと考えている。
- 委員 住民説明会を実施して、住民の意見を聞くことは基本だが、方式、期日、位置といった重要3項目が決まれば合併は是だと考えている。
- 委員 協議会で重要3項目が決まれば合併は是であるとは考えておらず、そのことを含めて住民に合併の是非を問うことだと思っている。
- 委員 当初から、協議会としての結論を出して、住民に図ったらよいと言ってきたが、何も決まっていない状態の中で住民にどう説明していくのか。
- 委員 合併は最終的には議会が決めるが、現在協議の項目は全て是非を協議していると考えており、今後出てくる重要な項目で非になるかもしれない。
- 委員 合併後の市長・市議員選挙の選挙管理委員は、こういった形で選ばれるのか。
- 事務局 新市長が誕生するまでは、現在の6町長の中から1人を職務執行者として選出する。選挙については、6町の選挙管理委員の中から職務執行者が任命し暫定の選挙管理委員会で選挙を実施する。

第7回 総務・企画・議会小委員会

日 時 平成14年10月17日(木) AM9:30~AM11:58

場 所 峰山町役場

出席者数 13人(欠席1人)

主な議題

- (1) 協議第1号 19-6 消防団の取扱い
- (2) 自由討論 地域審議会、合併基本項目(方式、期日、位置)について

議事経緯

◆委員長あいさつ

◆会議の成立確認

◆議題

(1) 協議第1号 19-6 消防団の取扱い・・・継続協議

主な意見

委 員 平成16年4月1日付けで、6町消防団をひとつとして新市消防団として再編するということだが、3月末まで現行体制とはどういうことか。3月1日に合併するとしたら、町はなくなるので〇〇町消防団はなくなると考えるが、出勤や公務災害、旧町名を使う場合、法的なことも含めどう考えているのか。また、町がなくなるのに〇〇町消防団とはいかがなものか。

部会長 平成16年3月の1ヶ月間については、町はなくなるが6つの消防団は市に組み込まれるので、現実的に市の中に6つの消防団が存在することになる。現に舞鶴市には消防団が20団ある。名称については制限がなく、地名を使っても問題はないし制度的にも問題はなく、5年でも10年でもそのままの組織でいくことも可能である。市の消防団の名称は4月1日から付けることを今回提案している。1ヶ月間については、それぞれの消防団の出勤体制や報酬額となるが、やむを得ないと考えている。

委 員 新市の消防団の新しい組織については、3月1日からか4月1日からか。

部会長 消防団では、4月1日の入退団が慣例化しており、消防団長については3月1日付けで新市長から任命を行うが、新しい組織体制は4月1日からとしたい。委員の方々の議論を踏まえ、調整案については4月1日より「新市消防団として発足する」から「新市消防団として再編する」に変更したい。

委 員 消防団員の手当は、所得税の課税をどうされているのか。

部会長 峰山町では団員報酬は分団長への振込みとなっており、団員への支給方法については活動の仕方も違うため様々である。税金については5万円以上の報酬について7%の課税をするよう税務署から指導されている。

委 員 「現員数を定数とする」となっているが、各町の現定数を新市の定数とするのがよいのではな

いか。

部会長 定数により退職金や公務災害の掛け金が決まってくるので実態に即したものがよいとの結論となった。

委 員 組織の調整結果について、「合併時に現行のまま移行する」という1ヶ月のことが出ていない。団長会の中で、消防団体制についてどんな意見が出ていたか。団員の報酬について、一元化というのはどういったところで決まるのか。また定数について一定期間に見直しとなっているが、いつごろを考えているのか。

部会長 4月1日付けで一本化したのは、毎年入退団が250人前後であろうかと思うが、このため3月の上旬は団員確保に苦慮している時期で、新卒者の勧誘がやりやすいので4月1日としている。また、平成16年3月の1ヶ月については従前の指揮命令系統が一番最良と考えた。2月末での退団ということになると、表彰関係や退職金について年数不足などの影響が出てくるため、年度末まで現行どおりとしたい。報酬については結論は出ていないが、財政との関係もあり、現在出ている額を上回ることは許されないと考えている。しかし、活動内容の違いにより、安易に同規模の市と比較することはできないと考える。定数の見直しの時期については、4月1日の新体制に入ってから次の任期までに結論を出していただきたいと思っている。

委 員 広域消防組合設置時に大幅に組織再編を行い、またそれに際して自警団を組織されたところなどがあると思うが、この場合地域に対する資機材の払い下げに伴う維持管理費の支給などについても見直し時に検討されるのか。

部会長 自衛消防の組織編制は大きな課題となっているが、今後防災関係の中で提案したい。

委 員 私の集落では、昼間の消防団員がほとんどいない。火災時には一般の協力なしには消火できない。こういったことも含めて、定数等が考えられているか。弥栄町では今年ポンプ車を更新するが、この時期に更新するのはどうか。消防署との協議はどうなっているのか。市になり広域消防組合があり、消防団があり自警団があるとすると何か住民負担が増えることも考えられるので、消防団の資機材の充実も踏まえ体制について考えていただきたい。

部会長 現員数を定数とするというのは、現組織を引き継ぐということで自警団とは関係ないが、移行後一定の見直しの時には考慮していかねばならない。資機材の更新は、万が一を考え合併に関わらず更新時期には更新していかねばならない。再編時には自警団に払い下げるなど、こうした資機材が無駄になることはないし、資機材の充実が6町共通の願いである。広域消防組合が設置されたからといっても、現在の分署を考

と考える。6町間の国・府・町道を含めたアクセスに関する検討が必要ではないか。

委員長 各町の道路整備について、どうするかは今後十分検討したい。

町長 京都縦貫道、高規格道路などと新市へのアクセスについて、水戸谷峠などまだ未整備となっている部分があり京都府の方に要望していきたい。

委員 高齢化社会の中で、道路問題と一緒に病院問題など新市計画において、将来の医療体制を住民に一定の形で示す必要があると考える。

副委員長 せっかくいい病院が2つあるから、それを核とした地域包括医療体制が組めないかと考えている。2ブロックに分け、福祉・医療・健康を一括できるようなシステム作りを新市計画の中で検討したい。

町長 国では病院について独立行政法人化するというような話がでていいる。今すぐではないが、合併後に新市で検討すべく明記していかなければならないと思っている。

委員 事業課を支所に残すということだったが、どこまでの権限を委譲するのかが問題ではないか。また新市建設計画で一番最初にやらなければならないのは道路だと思う。6町の利便性・交流を考えると、住民の距離感をなくすことができれば、ある程度の問題は解決できるのではないかと。

委員長 事業系の課の予算の問題、本庁と支所の関係も研究し検討していきたい。

委員 道路について問題となっているが、府内の合併協議会の第1号として、またわれわれも一丸となった姿を持ってあがり、京都府には配慮をしていただきたい。

京都府 京都府としては、合併は地域づくりの有力な手法のひとつとして、自主的・主体的な動きに期待をしている。議論が活発化・具体化する中で話がまとまり、地域づくりのイメージと一緒に持ってきてもらえば、検討していかなければならない段階にきていると考える。

委員 本所・支所の関係で、ゾーニングにマッチした支所機能ということを中心に考えているようだが、支所をアンテナとしてネットワークを持たせることを考えないと、各町の特徴を活かすことで逆にひとつになれず単独町でやればよいということになってしまふ。道路も観光協会もネットワークのひとつ、いかにスムーズな効率的なネットワークを作っていくかということが必要と考える。

委員 新市建設計画の中間案に行財政基盤の確立が出ていない。また交付税積算との関係で、常備、非常備消防についてどちらを充実させていくのか。

委員 広域消防組合について、消防団との関係も含め一定の見直し、再構築が必要ではないかと考える。また新市になり、はしご車等の購入問題も出てくると考える。

委員 区長制の問題、また地域審議会設置の問題など住民の気持ちを吸い上げたり配慮したりしなければ理解が得られないのではないかと。

委員長 住民の意見を吸いあげる機関として、区長制度、地域審議会などの整備が必要ではないか。

委員 新市になるのだから、6町がひとつのまちとしての個性を持たないと意味がない。不況により若者の定着率が下がりスポーツの活発化がなくなっており、産業の活性化が必要と考える。またスポーツ施設など、6町が一堂に会する場として、箱物をたくさん作れというのではなく、峰山の途中ヶ丘陸上競技場、野球場のように、それぞれシンボル、ステータスといった施設を作っていかなければならないと考える。高齢化人口の増加を考えると、公務員をたくさん増やす必要はないが、自律的な市民参加によるまちづくりということから、ボランティアのネットワーク作り、またそれに対する行政支援は必要と考える。

委員 新市建設計画を協議する中で、財政計画についてはいつごろでてくるのか。

事務局 行財政改革、行財政基盤の確立は基本理念の記述にはないが、いずれかの段階でこの場に出していきたい。財政計画については、合併後の事業について特例債等を含め作っていかなければならないが、半年以上先のこととなると考える。

委員 住民説明会を実施されるのなら、7つの基本方針の下に事業まで入っていればわかりやすいと考える。

委員 成人式は一箇所のできる建物が作ればよいが、地域ごとにやるのがよいと考える。都会の成人式では誰が誰やらわからないということもあり、地域で育ててくれた人と祝い、そして同窓会的で故郷を感じさせる雰囲気を残した方がよいと考える。

委員 住民・福祉・教育小委員会の中でも、入れる施設がないのなら分散型もやむなしとの提案もあった。

第7回 新市建設計画策定小委員会

日 時 平成14年10月17日(木) PM1:30~PM2:50

場 所 峰山町役場

出席者数 19人(欠席1人)

主な議題

(1) 協議第1号 新市建設計画について

議事経緯

◆委員長あいさつ

◆会議の成立確認

◆議題



(1) 協議第1号 新市建設計画について

新市建設計画の具体化に向けた小委員会での協議・自由討論より

◎総務・企画・議会小委員会委員長報告

- ・合併が広域で行われることから、地域審議会の設置を希望する。
- ・非常備消防について、消防活動の充実、特に昼間における体制の整備や資機材の充実を強く望む。

◎住民・福祉・教育小委員会委員長報告

- ・女性の社会進出の拡大や子育て環境の変化などを背景とした「就学前教育の充実」や「保育環境の充実」を望む。
- ・新市において、エンゼルプランを早期に策定されたい。
- ・図書館を含め、生涯学習の場の充実を図られたい。

◎建設・産業小委員会委員長報告

- ・ゾーニングにマッチした市役所組織の整備
- ・他地域との交流を豊かにするための道路整備
- ・市域の交流や役所とのアクセスのための道路整備
- ・「農業振興に関する計画」について、新市における計画づくりにおいては、各地域の特性を踏まえ、これを生かすよう努力されたい。
- ・人材育成や中小企業の研究開発に係る支援体制等、新しい市の産業活性化を図る施策の充実を検討されたい。

主な意見

委 員 本所・支所については、ゾーニングにマッチしたものとして、水産や観光など各独立したものを持つのか、本庁の小型というこ

とになるのか。

委員長 事業系の課はできるだけ支所に残したい。それには地域把握のための職員の配置を基本に検討している。

委 員 建設・産業小委員会から出ていたゾーニングにマッチした支所とすると、拠点はどこにおくかわからないが、例えば水産観光にしてもその拠点まで足を運ばなければならなくなるといった不安を持つ。

委員長 部制を置くとして、部のあるところには多少職員は多くなるが、その他の支所にも職員を配置して機能していく状態を考えてほしい。

委 員 本所・市所間は光ファイバーで結ばれると考え、事務的には支障がないと思うが、以前CATVを取り入れるような話を聞き、丹後のような広域では必要と考えているがどうか。

委 員 聞くところによると従来型のCATVはもう時代遅れで、IT関連で通信を主体にした、もっと進んだ形のものがあっていると聞いている。費用など知っていれば教えてほしい。

委員長 試算すると従来型のCATVは76億円ほどかかる。テレビを含む通信を主体とした新しいシステム(FTH)はこれよりかなり額が増えると聞いているが、現在前向きに検討中である。

委 員 地域に早く情報を伝え、またそこから発信していくというように、先取りして全国から視察が来るくらいの電子自治体を確立してほしい。また地域の声、計画の進行を見守るためにも地域審議会の設置を併せて考えてほしい。

委員長 地域審議会についても前向きに検討している。

委 員 ゾーニングの図を見ると、真ん中に網野、峰山、大宮町があり、ここら辺を中心と考えたらどうか。あまりに分散すると逆に住民にとっては不便となるので、この3町を中心にとすれば便利ではないか。また福祉・健康・医療体制などは、西を久美浜町、東を弥栄町が受け持つとしたらどうか。

委 員 支所を残すと合併の意味がないと住民の方々に思われる恐れもあり、多少は不便であっても一緒になるんだという意識の中では、本庁のみといったこともあるべき姿ではないか。

委 員 地域の利便性・活性化を考えると道路整備が一番大切な問題で、合併により距離感をなくすることは住民に対するインパクトが強い

第7回 建設・産業小委員会

日時 平成14年10月10日（木） PM2：30～PM4：31

場所 あみの図書館

出席数 12人（欠席2人）

主な議題

- (1) 協議第1号 19-28 農林水産事業の取扱い（その5）
- (2) 自由討論 合併基本項目（方式、期日、位置）、新市建設計画の中間案について

議事経緯

◆委員長あいさつ

◆会議の成立確認

◆議事

(1) 協議第1号 19-28 農林水産事業の取扱い（その5） ・・・確認

主な意見

委員 合併すると、各町にある水田農業推進協議会も一つの組織となるのか。

部会長 今回の流れでは、生産調整は面積配分から数量配分になり、個人割り当てになると言われている。個人配分になった場合、この組織が必要あるかどうか検討しなければならない。また、この組織は生産調整だけの協議会ではなく農業振興に係る協議会に変わっていくのではないのか。

委員 生産調整の取り組みの中で「集落単位」となっているが、これは区を指すのか農事組織を指すのか。

部会長 大きく言って区ではあるが、区の組織の中に農会長があるところはそちらにお願いしており、営農組織にはお願いしていない。

委員 平成16年頃に順次生産調整の制度は廃止されると聞いているが、これに関わる補助事業についての変更・見直し・廃止ということを把握しているのか。

部会長 生産調整は個人の選択にまかされ、参加しない人は自らの責任でやらねばならないということから、ほとんどの制度が一旦廃止され農業振興の新たな制度として出てくるのではないかとと思われる。

委員 各町、農事組織がバラバラであり、また区内での農家数の減少で、生産調整など願うのは難しいと思うが、合併に際してそこまで考えているのか。

部会長 合併で各町のやり方を統一するのは難しい。福知山では、自治組織とは別に農家で構成する農区というものを作っている。今、行政や農協と関わる組織の見直しの時期にきていると考えるが、委員の意見を参考に今後検討したい。

委員 米政策の転換と併せて、新市で一元化するべき。

部会長 どういう組織でやるかわからないが、農家のみなさんからは平成16年について、来年の秋には方針を出してほしいと言われている。農水省の研究会での結論を踏まえ、平成15年秋を目途に考えている。

(2) 自由討論 合併基本項目（方式、期日、位置）、新市建設計画の中間案について

主な意見

委員 この前の協議会で、新市の事務所は峰山町役場で新たな庁舎建設はしないということであったが、新市になって新しい庁舎が必要であれば考えていけるのか。

委員 新市になって総合計画ができた時、提案されている市役所の位置をもう一度判断するために、さいたま市に習って「当分の間」と入れ再提案してほしい。

委員 この前の協議会では、支所の位置づけについて説明不足であった。どのように残るのか、またその機能についていつごろ示されるのか。

委員 治山治水の関係で、堤防決壊、道路陥没など今は各役場での対応となるが、合併して支所に担当がいなくなったら速やかな対応ができず、その間に事故が起きる

かもしれない。また水道の断水での迅速な対応など、支所機能をどのように考えておられるのか。

委員 本庁には総務、議会を置き、後は新市建設計画のゾーニングにあるように、網野町には観光水産、久美浜には農業、医療は弥栄、大宮は産業というように拠点づくりをしてほしい。支所は、住民の不便さを解消するためにも、ある程度責任を持たせるように、現役場を活用するのがよい。期日や方式については異論はない。

委員 平成16年3月1日に合併する場合、それまでの11ヶ月間の決算はだれが承認するのか。

事務局 平成15年度決算は2月末で行われ出納整理期間はない。従って、年度末に入る補助金等の収入がないため6町とも赤字決算となり、新市の3月の1ヶ月間の決算には2ヶ月の出納整理期間があり、補助金等の収入で黒字決算となる。この赤字決算と、新市の黒字決算が合わせて15年度の決算となり、新市の議会で審議される。平成16年度4月からの予算については、人件費や扶助費など義務的経費を中心とした暫定予算を職務執行者が専決処分で決める。

委員 全国的には、丹後と聞けば天の橋立や宮津、舞鶴しかイメージできない。丹後には海を利用した観光産業しかないと思う。建設計画にこういった柱を持たせ、これを振興させることにより農業、商業が潤うということを考えていかねばならない。そういったことから、新市の名称には海をイメージしたものがよいと考える。中間案ではなく、そろそろ最終案を立てる時期に来ている。

委員 新市建設計画策定小委員会に全てをまかせておいてよいのか。もっと他の小委員会でも意見を出し、提案される計画に反映させていかなければならない。

委員 中間案を持って説明したのは、住民もイメージがわからないのではないのか。支所機能についても先進事例があるが、それが当てはまるとも限らないので、もっとここで意見を出した方が、住民に見えやすいものができるのではないのか。

委員 図の方に、広域道路として整備中の網野・岩滝線や峰丹線、各町間のアクセス道路を入れてほしい。

委員 新しい市になった場合、身近に市を感じてもらうために、各町持ち回りで市議会を開くなど支所機能は大事である。

委員 支所について、事務局構想が何か聞けないか。

助役 現在はかなりの職員数があり支所への配置はできるが、人員整理をしていくといずれ見直しをしなければならなくなる。今、合併時に各支所にどれくらいの職員を残すかが議論となっている。

委員 「事務所の位置」の提案時には支所機能についてできていなければおかしいと思うが、支所の事務と本来本庁に置くべき事務をどの支所に置くかということのを早急にやってほしい。

委員 この協議会のシステムでは、首長と委員の意見のキャッチボールができていない。委員の意見がどこまで伝わっているかわからない。内容によっては各小委員会に首長も出席するなど、意見交換の場がほしい。小委員会の気持ちをもっと分かってほしい。また、海ばかりを前面に出すのではなく、丹後には世界に発信している企業もあるので、もっと商工関係に目を向けるなど、この小委員会でもよりよい議論ができればよい。

委員 本所、支所については光ファイバー等を設置することにより、分散型に持っていったらよい。

委員 最近、市になるための要件について、平成17年3月末まで延長される話を聞いているがどうか。

事務局 政党内の議論として報道されているのは承知している。

委員 町立病院や各町保有施設など補助金の明確化をして、民間委託も視野に入れた経営面を考えていかなければと思う。



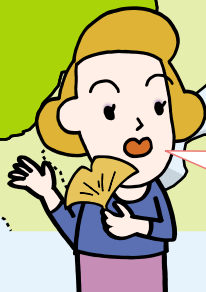
たくさんのご応募
ありがとうございます
ございました

峰山町・大宮町・網野町・
丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議
会では、10月1日から31日まで、合併
するとした場合に誕生する新市の名称
を募集したところ、大変たくさんの
応募をいただきました。

〇〇市？



わしの出した名前
は選ばれるだろう
か。協議会の委員
さん、よろしくた
のむでー。



どんな名前に決ま
るのか、とても楽
しみだわ。丹後に
ふさわしい名前を
つけてね。



応募いただいた名称につ
きましては、現在集計作業中
で、後日「協議会だより」
や「ホームページ」の方で
全種類公開させていただきます。

全国の合併協議会設置地域で決まった

新市の名称を紹介するわ



土地柄なんかを
生かした
名前もあるのね。



都道府県	団 体 名	設置年月日	合併目標	新自治体の名称
静岡県	静岡市・清水市	H10.4.1	H15.4.1	静岡市
山梨県	矢田村・白根町・芦安村・若草町・ 櫛形町・甲西町	H12.4.1	H15.4.1	南アルプス市
香川県	引田町・白鳥町・大内町	H12.4.1	H15.4.1	東かがわ市
長崎県	厳原町・美津島町・豊玉町・峰町・ 上県町・上対馬町	H12.8.1	H16.3.1	対馬市
広島県	江田島町・能美町・沖美町	H13.4.1		江田島市
長崎県	福江市・奈留町・岐宿町・三井楽町・ 玉之浦町・富江町	H13.7.1	H16.8.1	五島市
岐阜県	高富町・伊自良村・美山町	H13.8.1	H15.4.1	山 県 市
長崎県	勝本町・郷ノ浦町・芦辺町・石田町	H13.8.1	H16.3	壱岐市
滋賀県	安土町・五個荘町・能登川町	H14.1.4	H16.3.31	安土市
石川県	高松町・七塚町・宇ノ気町	H14.4.1	H16.3.1	か く ほ 市
岐阜県	本巣町・真正町・糸貫町・根尾村	H14.4.1	H16.2.1	本 巣 市
徳島県	川島町・鴨島町・山川町・美郷村	H14.4.1		吉 野 川 市
熊本県	本渡市・牛深市・有明町・御所浦町・ 倉岳町・栖本町・新和町・五和町・ 天草町・河浦町	H14.4.1		天 草 市

南アルプス市には
ビックリしたわ。

!?



(峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会調べ)

考えよう！地域の新しいまちづくり

上田博之 委員（峰山町）



市町村をとりまく厳しい環境を展望するとき、合併はやむなしと考えています。市町村は、基礎的団体として最低限の行政水準を確保することはもとより、魅力あふれる特色ある地域づくりのための財源確保も大切です。スケールメリットも最大限に生かしながら、「丹後是一つ」の創造に向け、頑張りたいと思います。

本城克一 委員（大宮町）



新しい世紀に入り、この合併を機に新しい自治のあり方に挑戦する最もよいチャンスだと思います。合併に伴うデメリットをメリットとなるように考え、行動することにより課題を乗り越え、希望の持てる新しい計画の下に次代を継ぐ子供たちが安心して生活ができ、皆さんがこの町に住んでよかったと言われる地域づくりを構築していきたいと思っています。

梅田耕之助 委員（網野町）



合併は、新しいまちづくりの手段です。財政事情による促進要因も、いろいろ語られています。第5回の合併協議会を終えて、合併の基本的な協定項目が協議の俎上にあがりました。何よりも、活力の湧く新しいまちづくり計画をしっかりと立てて、住民にその内容を情報公開して理解を得ることと思います。

大下道之 委員（丹後町）



少子高齢化が進行する中、各町が思い思いの施策を展開している、効果が不十分で丹後全体がジリ貧になります。日常生活圏を同じくするものが一つとなる地域が、その地域の人々全体の要求に対応できる自治体の規模と思います。6町の合併では、周辺部の個性を生かし、一体感のあるまちづくりを進められるかが大きな課題です。

行待 実 委員（弥栄町）



市町村合併は、単なる区域の変更ではなく、住民自治の変更でもある。合併で周辺地域が寂れるとか自治が遠のくという見方があるが、それは構想力や手法により解決出来ることであって、地域の将来を展望した自己決定が大切である。21世紀の地方自治を担うのは行政でなく住民自身であるとの気概で、将来の子供達にどんな丹後が引き渡せるのかを考えたい。

辻 征一郎 委員（久美浜町）



全国的に、市町村合併の動きが急速に見られるようになってきた。幾多の変遷を経て今日の市町村があるが、今やグローバル時代に入っている。人々の生活範囲が広域化する中、時代にあった自治体のあり方について、みんなで考える時期になっている。豊かな自然や文化など恵まれた地域の特性を最大限活かし、安心して暮らせる活気あふれた新しいまちづくりを、皆さんと共に考えていきたい。

■今後の会議予定（傍聴人数は予定）

		傍聴人数		傍聴人数	
総務・企画・議会小委員会	11月11日(月) PM1:30～丹後町役場	10人	12月 4日(水) AM9:30～丹後町役場	10人	
〃	11月27日(水) PM1:30～峰山町役場	10人	12月17日(火) AM9:30～峰山町役場	10人	
住民・福祉・教育小委員会	11月 7日(木) PM1:30～弥栄町役場	10人	12月11日(水) PM2:30～アグリセンター大宮	10人	
建設・産業小委員会	11月 6日(水) PM1:30～JA久美浜支店	10人	12月11日(水) AM9:30～あみの図書館	10人	
新市建設計画策定小委員会	11月15日(金) PM1:30～アグリセンター大宮	10人	12月17日(火) PM2:30～あみの図書館	10人	
第6回 合併協議会			11月22日(金) PM1:30～JA久美浜支店	30人	

編集・発行 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局
〒627-0025 京都府中郡峰山町字堺29番地
TEL 0772-69-5252 FAX 0772-69-5253

ホームページ <http://www.gappei6.com/>
Eメールアドレス webmaster@gappei6.com